

光星快勝16強

開星(島根)を6—2



第88回選抜高校野球大会は第2日の21日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で1回戦3試合を行い、本県代表の八戸学院光星は開星(島根)を6—2で下した。3年連続で2回戦進出を果たし、16強入りを決めた。

【詳報10、11面、関連記事19面】

八学光星は初回、2死三塁から益田敦成の内野安打で先制。二回にも徳田大沙、伊藤優平の連続適時打で2点を追加した。一時、1点差に迫られたが、五六回に追加点を挙げ突き放した。先発の櫻井一樹が粘投、開星打線を2失点に抑えた。

八学光星は大会第7日の26日、第1試合(午前9時開始予定)で、2年前にも2回戦で対戦し、敗れている相手の龍谷大平安(京都)と8強入りを懸けて対戦する。

(本田海輝、兼平昌寛)

▽1回戦

開	星(島根)
10	00
20	10
02	20
00	00
10	00
20	00
00	00
00	×0
62	—

八学光星